

2023年度第2回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 唐戸特別

唐戸(からと)は、山口県下関市の地名。古くから栄えた港町であり、旧下関英国領事館、旧秋田商会ビルや下関南部町郵便局など、レトロな建物が建ち並ぶ。また、ふぐで有名な唐戸市場がある。

○ 大濠特別

大濠(おおほり)は、福岡市中央区の地名。福岡城の外濠を利用して造られた大濠公園が有名。公園内には、市立美術館・能楽堂・日本庭園などがある。

○ 和布刈特別

和布刈(めかり)は、北九州市門司区の地名。名は、和布刈神社に由来する。「和布刈」とは、わかめを刈り取ることを意味し、同神社では旧暦の元旦に神官がわかめを刈り取る行事「和布刈神事」が行われている。

<第2日>

○ あすなろ賞

あすなろは、ヒノキ科の常緑高木。日本固有種で、全国の山地に自生し、大きいものは高さ30m、直径1mにもなる。葉はやや厚く大きなウロコ状で緑色をしており、裏面には雪白色の模様がある。抗菌性と耐湿性に優れ、古くから木材として用いられている。

○ 太宰府特別

太宰府(だざいふ)は、福岡県中西部の市。律令制下で西海道(九州全土)を統括した官庁である大宰府が置かれていた。また、「学問・至誠・厄除けの神」と崇められる菅原道真を祀った太宰府天満宮があり、全国から多くの参拝者が訪れる。

○ 北九州市制60周年記念北九州短距離ステークス

本競走は、北九州市制60周年を記念して実施される。

北九州(きたきゅうしゅう)は、福岡県北部にある政令指定都市。同市の官営八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されている。

なお、同市は小倉競馬場の所在地でもある。

<第3日>

○ 秋吉台特別

秋吉台（あきよしだい）は、山口県西部にある美祢市の中・東部に広がるカルスト台地。狭義には台地中央を貫流する厚東川以東の国定公園地区を指す。日本最大級のカルスト台地として知られ、古生物学・構造地質学上でも重要視されている。特に日本一の規模を誇る鍾乳洞は観光地としても有名。

○ 皿倉山特別

皿倉山（さらくらやま）は、北九州市八幡東区にある標高 622m の山。西に続く帆柱山とともに北九州国定公園となっている。山頂にある展望台からは洞海湾沿岸の工業地帯や関門海峡を一望でき、夜景が美しいことで知られている。

○ 紫川特別

紫川（むらさきがわ）は、北九州市の中心部を流れる川。延長約 20 km。小倉南区の福智山に源を発し、小倉北区で響灘に注ぐ。上流には平尾台があり、下流では北九州市最大の三角州を形成している。

<第4日>

○ 国東特別

国東（くにさき）は、大分県の北東部に広がる半島、また同半島東部の市。平安時代から鎌倉時代にかけて多くの社寺が作られ、石仏や板碑などの仏教遺跡が点在している。また、「くにさき銀たち」と呼ばれる太刀魚が多く水揚げされることでも有名。

○ 伊万里特別

伊万里（いまり）は、佐賀県西部の伊万里湾に臨む市。湾奥の伊万里港は、かつて陶磁器や石炭の積み出し港として栄えた。近年では大規模な臨海工業団地を造成し、造船・IC 関連産業・木材関連産業等が集まり近代的な工業港として発展している。南部の大川内や平尾は伊万里焼の産地として有名。

○ 小倉大賞典（GⅢ）

本競走は、昭和 42 年に創設された重賞競走。創設以来、スタンド改築等を除き、小倉競馬場芝 1800m のハンデキャップ戦で実施されており、マイル～中距離路線での飛躍を狙う馬にとって重要な競走となっている。

<第5日>

○ 春麗ジャンプステークス

春麗（しゅんれい）は、すべてが美しく映る春のこと。

○ あざみ賞

あざみは、キク科アザミ属の多年草の総称。世界中に約 250 種あり、このうち日本ではおよそ 80 種が自生している。身に付けていると、北欧神話に登場する雷神トールの加護が得られるとされており、「雷草」とも呼ばれている。花言葉は「厳格」「独立」。

○ 脊振山特別

脊振山（せふりさん）は、福岡県と佐賀県の境に位置する標高 1,055m の山。頂上には脊振神社がある。また、鎌倉時代に栄西禅師が宋の茶を移植したことで知られ、日本茶栽培の発祥地とされる。

○ 早鞆特別

早鞆（はやとも）は、九州の北端、門司崎と下関市壇之浦との間の水路。早鞆瀬戸（はやともせと）の名で知られる。この付近は海峡の中で最も狭く、本州と九州の間の海峡の幅は約 630m。潮の流れも強く、最大 9 ノット（約 17 km /h）に達することもある。

<第6日>

○ 高千穂特別

高千穂（たかちほ）は、宮崎県北端部にある町。五ヶ瀬川にかかる峡谷「高千穂峡」が有名で、日本の滝 100 選に選定された名瀑「真名井の滝」がある。また、宮崎県と鹿児島県の境に位置する高千穂峰は天孫降臨伝説の地として知られ、山頂には天逆鉾（あまのさかほこ）がある。ミヤマキリシマ、マイヅルソウなどが自生し、山麓には多くの温泉がある。

○ 八代特別

八代（やっしろ）は、熊本県中南部の市。江戸時代には熊本藩家老松井氏の城下町として栄え、八代城や松浜軒などの旧跡が多く残る。また、低地では農業が盛んで、イグサの生産量は日本一を誇る。

なお、同市には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ八代がある。

○ 下関ステーキス

下関（しものせき）は、山口県西端に位置する市。古くより九州や中国大陸からの本州の玄関口として栄えた。また、平安時代の壇之浦の戦いや、江戸時代末期に起きた下関戦争など、歴史的舞台となった都市として知られている。